



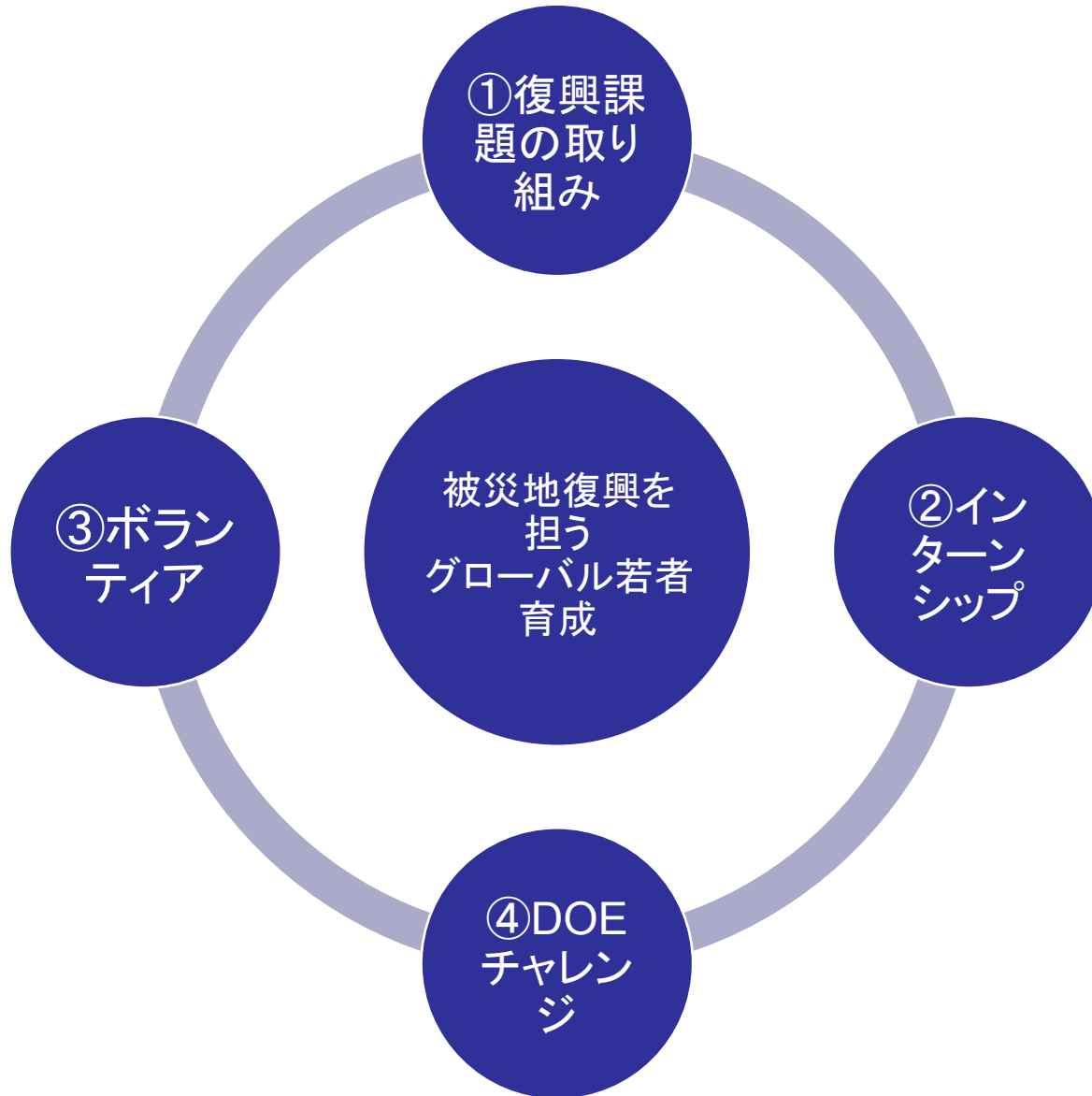
JCS Rainbow Project

JCS レインボープロジェクト グローバル若者育成プログラム

東日本大震災復興支援特別プロジェクト



グローバル若者育成プログラム



2019レインボーステイプログラム概要



JCS Rainbow Project

実施期間 (支援期間)	2019年3月～11月の最大2か月間
滞在先	到着後～2週間:シドニー市内のボランティアホームステイ家庭 3週間目～帰国まで:シェアハウス等にて自活を目指す
航空会社	日本航空、全日空、カンタス航空
支援費用	成田空港または羽田空港と、シドニー空港間の往復航空券 および2か月間の滞在費用(宿泊費, ホームステイ中の食費, 現地交通費の一部)
参加条件	東日本大震災の罹災証明書を持つ20歳～22歳
集合場所	シドニー空港
添乗員	無
プログラム	1. カテゴリー①:地域復興課題へのシドニーでの取り組み案を実践 2. カテゴリー②～④いずれかに参加 3. シドニーホームステイ中に各種会合, アクティビティ参加 ※上記3つのプログラム全てを行うこと

カテゴリー①: 地域復興課題の取り組み



JCS Rainbow Project

日豪双方で実践できる地域復興企画案の提出(応募時)

以下は参考となる他プログラムです。

- 地域創生の政策アイデア募集
 - 地元の地域経済をインバウンド観光産業で元気にする
 - 地域への海外からの移住者を〇〇で増やす
 - 地域の伝統〇〇をベースに海外向けに新たな〇〇産業を生み出す
- 高校生ビジネスプラン・グランプリ(日本政策金融公庫)
福島県立西会津高等学校事例:
西会津町活性化プロジェクト ほうじ茶車麩ラスク~ほうじ茶の香ばしさを ギュッと凝縮しました。~
- 国連のSDGs課題への取り組み案(アイセックインターン, トビタテ留学等)
- 国際ボランティアNGOのNICEキャンプ <http://nice1.gr.jp/globalcamp/index.html>
- 東北オープンアカデミー <http://open-academy.jp/>

✓ シドニーでの実施事項の事例: 市場調査, 宣伝, ワークショップ開催等

カテゴリー②: インターンシップ



JCS Rainbow Project

シドニー現地企業・大学にてインターンシップを経験することにより国際ビジネス感覚を身につける。

- 地元大学・企業等〈要スポンサーシップビザ〉
- 日系企業〈要スポンサーシップビザ〉
海外で活躍する日本人との出会いも勉強になる。
- 日系非営利団体〈観光ビザ〉
 - クレアシドニー(一般財団法人自治体国際化協会)

大学生は英語力次第で、シドニーキャリアフォーラムへ参加も可<https://careerforum.net/ja/event/syd/>



カテゴリー③: ボランティア

海外では日常的に行われているボランティアを経験し、
JCSレインボープロジェクトの活動を理解する。

- ファンドレイジングイベント企画書の提出と実践<該当ビザ保持者>(募金はレインボーへ寄付)
- 311東日本大震災復興支援イベント<該当ビザ保持者>
- クロウズネストセンター(ノースシドニーカウンシル管轄)
 1. リネンサービス(高齢者宅のベッドメイキング)
 2. 高齢者宅への食品配達
 3. センター来訪者へのお茶出し、イベントのお手伝いなどのレセプション業務
- Landcare (Willoughbyカウンシル) <https://landcareaustralia.org.au/> <観光ビザ可能>
 - 短期間はBuch Careなど限定的



カテゴリー④: 英国エジンバラ公国際アワード

英国エジンバラ公国際アワード(DOE) へのチャレンジを希望する場合はアレンジ<予定>
(Max A\$1,000まで費用負担) <http://www.intaward.jp/>

- 特に、日本では取り組みが困難なアドベンチャラスジャーニーカテゴリーへの参加
- DOEリストのボランティア参加
(ただし、DOEリスト受入先毎にビザ種の確認は必要)
- 時期によっては、文部科学省青少年体験活動奨励制度との平行資格
(7月募集, 8月~1月実施) <http://japan-youth-award.net/>

ブロンズ認定に必要な活動

サービス (ボランティア)	スキル	フィジカル・ レクリエーション	アドベンチャラス・ ジャーニー
他者そしてコミュニティに奉仕することの価値を理解	個人の興味、創造性、実用的スキルの成長を奨励	スポーツ等で健康とフィットネスの向上	グループで旅に出ること で冒険や発見の精神



募集対象者

★応募条件

1. 東日本大震災罹災証明書保持の20歳～22歳
グローバルな視点を持ち、将来の地域復興に向け貢献意志の高い若者。
2. カテゴリー①: 地域復興課題への企画案のもと、日本・シドニー両方で実践できること
3. オーストラリアで、以下のカテゴリー②～④のいずれかに参加できること
※条件付きビザが必要な場合があります。(要相談)
カテゴリー②: インターンシップ
カテゴリー③: ボランティア
カテゴリー④: 英国エジンバラ公国際アワード

★選考プロセス

1. 一次選考: Online応募フォームに必要事項記載 (出発希望時期の4か月前まで)
提出書類(PDF, JPEG等)
 - 東日本大震災罹災証明書
 - 英語資格証明書
 - アンケート
 - カテゴリー①: 地域復興企画案(日本・シドニー両方の実践を含むこと)
 - カテゴリー②～④の希望案
 - 応募動機作文
2. 二次選考: インタビュー(SkypeまたはLINE電話、東京での面接等): (出発の3か月前まで)
※選考結果は個別にご連絡します。
※該当者がいない場合は、募集・選考期間を延長する場合があります。出発時期は個別相談。



費用負担

このプロジェクトは、シドニー日本クラブレインボープロジェクト(以下、JCSレインボープロジェクトといいます)が主催のもと、留学費用を負担をし、参加者募集をするものであり、参加者はJCSレインボープロジェクトと参加規約を締結することになります。

★JCSレインボープロジェクトが負担する費用

- 往復航空券
- オーストラリアのETASビザ取得費用
- カテゴリー①: 現地での朝夕食事・宿泊・公共交通費 (A\$40)
- カテゴリー②~④: 宿泊 (~A\$200/週)

★参加者が負担する費用

- パスポート取得費用
- 自宅から出発・到着空港までの往復交通費
- 海外旅行保険
- カテゴリー①: 朝夕以外の食費
- カテゴリー②~④: 宿泊代以外の生活費
- オーストラリア運転免許証, フォトカード
- レンタカー、自動車保険、ガソリン代
運転は自己責任でお願いします。
また、学生は運転免許取得および運転は不可とします。
- お小遣い等
- 条件付きビザとETASとの取得費用差額分

スタッフサポート(コーディネーター)

- 宿泊先探しのサポート
- カテゴリー②～④インターン先等探しのサポート(ビザによっては出発前)
- 参加者のプログラム遂行状況のチェック(頻度:週1)とアドバイス
- 生活全般の相談とアドバイス
- 保護者への参加者のプログラム遂行状況の共有(頻度:週1)



留意事項

正当な理由なく、プログラム不履行の場合は、JCSレインボープロジェクトが負担する費用を全額返還いただきます。

また、プログラムには以下を含みます。

1. Skype英語無料レッスン受講(出発1か月前～) ※英語レベルによる
2. カテゴリー①は、企画案に記載された日本での実施事項も実践し、状況を報告すること
3. カテゴリー②～④は、インターン先等プログラムへの申し込みを行うこと
4. シドニー滞在中は、プログラムの進捗状況の報告を行うこと(頻度:週1)
5. 宿泊を伴う移動の場合または宿泊先変更時には、事前に連絡し、宿泊地を報告すること
6. 事前事後のワークシートの提出をすること
7. 出発前後の自分の思いや感じたことのアンケートを提出すること
8. 滞在中の運転は、費用面を含め全て自己責任。また、学生は運転不可

Q&A



JCS Rainbow Project

Q. 出発までに、満20～22歳に達している必要がありますか。または、申し込み時に達している必要があるのでしょうか。

A. 出発時点で、対象年齢であれば応募が可能です。

Q. 被災地出身ですが、罹災証明書は持っていません。応募はできないのでしょうか。

A. 東日本大震災被災児であることを示す書類・書面の提出について

2011年3月11日に被災地に居住していたことを証明できる、以下のいずれかの書類を添付ください。

罹災証明書 / 被災証明書 / 届出避難場所証明書 / 住民票 / 住民票記載事項証明 / 卒業証明書 / 在学証明書・在籍証明書

※「あしなが育英会東日本大震災遺児・孤児」は、これらの証明書は不要ですので、その旨を記載した書面(様式自由)を添付ください。

Q. 応募締切はいつですか。

A. 現在、2019年3月～11月滞在希望者を募集中です。出発までに様々な準備が必要ですので、出発希望の4が月前までには、ご応募ください。

例: 春休みに参加希望の場合、2018年11月中に応募

Q. 英検の合格書が手元にありません。応募できませんか？

A. 以下を書いた書面(画像, PDF等)を添付して応募してください。

- 英語資格証明書の名称, 取得レベル, 取得時期の記載
- 英語資格証明書を提出できる時期(例: 4月初旬)

Q. 地域復興課題は、日本とシドニーで、別の課題に取り組むのですか？

A. 共通テーマをPDCAを回して実践することをイメージしてください。

× 日本で企画案Aを実践 + シドニーで企画案Bを実践

◎ 日本で企画案Aを実践し、そこで得た反省点とシドニーという特性を考慮した企画案A'をシドニーで実践

Q. 英語のスピーキングに自信がありません。

A. 出発前にskype英語レッスンをアレンジ可能です。

Q. 出発時期に23歳になってしまいますが、応募できますか？

A. 応募内容によっては、柔軟に対応を検討いたします。